



1年学年だより

発行日：令和3年 3月 25日 (木)
発行者：横浜市立南高等学校附属中学校
校長：三浦 昌彦 NO. 10

本年度を振りかえって

校長代理 白田 淳子

休校から始まった令和2年度が終わります。1年生は入学式を終えた後、ずっと友達にも会えませんでした。学校生活の1年は圧縮され、授業日数確保のため夏休みがあったのかどうかも思い出すことができません。大きく成長する大事な機会であった行事がなくなってしまいました。2年生はイングリッシュキャンプ、3年生はカナダ研修旅行が中止になりました。毎日マスクを着用し、表情の半分は隠れたままです。授業でのペアワークやグループワークは、なんだかちょっと気がつかいながらやらなくてはなりません。せっかく中高一貫教育校でありながら、みんなで一緒に活動することは、密になってしまうので、中高別々に行くことばかりになってしまいました。本当に苦しい1年でした。

それでも私たちは生きていかななくてはなりません。我慢することばかりでしたが、この原稿を書いている今も、グラウンドからはみなさんの歓声が聞こえています。苦しい、つらいと悲観するのではなく、この状況の中で、楽しみや喜びを見つけ、逞しく生きているみなさんに希望を見つけることができます。

私たち大人は、この状況や変化を受け入れる柔軟性をなくしているように思います。あの頃は幸せだった、こんなことはつらくていやだと思ってしまう。でも、みなさんは柔軟な対応で楽しむことができる力を持っています。マスクの上のキラキラした目で、楽しそうに友達とおしゃべりしている姿を見ると、学校が楽しいと思ってくれているのだなとうれしくなります。大きな行事は中止でも、学年単位の百人一首大会やインキャン発表会では、真剣に一生懸命取り組んでいる様子を見せてくれました。こういう力を育てるために学校という場が必要なのだと強く実感しました。南高附属中の生徒は、この先どんな未来が訪れても、きっと自分の力で乗り越え、強く生きていってくれるものと信じています。4月から1つずつ上の学年になります。春休みは、新年度のための有意義な準備期間としてください。

保護者のみなさま、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき感謝いたします。令和3年度は新しい教育課程がスタートします。本校では開校当初から取り組んでいる「主体的・対話的で深い学び」を改めてブラッシュアップし取り組んでいきます。評価の観点なども大きく変化するため、テストのあり方や、連絡票の形式なども変えていく予定です。詳しくは次年度の教育課程説明会でお伝えする予定ですのでぜひご参加ください。

次年度はこの状況が少しは好転し、生徒が伸び伸びと活動できるいつもの教育活動に戻れることを願っています。今後ともご協力をお願いいたします。1年間本当にありがとうございました。

構成的グループエンカウンター研修PART2

2月27日土曜EGGで、「構成的グループエンカウンター研修PART2」が行われました。学校再開直後の7月に第1回を行い、クラスの初対面の緊張が少しずつ緩み始めた記憶があります。今回はその第2弾。友人関係も落ち着いてきたけれどかえって固定化していない？さらにもっと良い関係を築くには？というねらいがありました。

「あなたはどっち？」「ジョハリの窓ゲーム」「権利の熱気球」「みんなでリフレーミング」「グループの人から見たあなたの印象」などの活動を通して、相手のこと、自分のこと、人間関係を構築することについて改めて見つめ直しました。自分が思う欠点について友だちからリフレーミングしてもらって、元気や自信をもらった人も多いようです。また7月から比べてお互いの印象が変わったことに、お互いの間柄の発展を実感したことでしょう。

かつてない形でスタートした中学校1年生の生活も、幕を閉じようとしています。中学校生活に慣れること、楽しむことに一生懸命だった1年間。せっかく仲良くなったクラスの解散に名残惜しさももちろんありますが、それはみんなが頑張って友人関係を築いてきた証。そして、居心地の良い空間は自分たちでつくれるということ。お互いの「ジョハリの窓」を広げるコツを生かして、4月の新しい出会いを楽しみましょう。9期生のこれからの成長が楽しみです。



1組: リフレーミングみたいなことは、自分で考えたりしたことはあったけれど、上手くりフレーミングができない点もあったから、友達が上手く表現してくれて嬉しかった。自分の印象のシートは、前回やった頃と変わったところもあったし、言葉で書いてもらうところも普段はあまりそういう話をしないし、嬉しかった。

1組: 自分の知らない自分、相手の知らない自分を知ることができた気がしました。「この人にこんな一面があるんだ！」と驚いたり、納得したり、様々なことができました。人とのコミュニケーションの仕方について、よく考えることが大切だと感じました。お互いに長所を見つけるのは気分がよく、楽しかったです。

2組: 自分が短所だと思うことでも、見方によっては長所にも変化してすごいと思った。これから悲しいことや大変だと思うことがあっても、ポジティブに考えられるようになりたい。また、友達と話し合うときに、前回よりもたくさん意見が言えるようになって嬉しかった。自分を知ったり、相手のことを知ったりすると、トラブルとかも減りそうだなと思った。

2組: グループの中で、意見を出してくれる人もいれば、それをまとめてくれる人もいた。でもそれは2組のどの5人になっても同じだと思った。普段そこまで話さない人も自分のことをどう思っているのかわかって、温かいグループエンカウンターになった。

3組: 今回の活動を通じて、私は「前に進もう」という勇気をもることができた。特にリフレーミングでは、自分にとっての短所は周りから見れば長所とも捉えることができるということを実感でき、心が軽くなったように思う。1年3組として過ごす時間が残りわずかとなった中で、互いのことを知り、その言葉によって自分も知り、成長することができる一クラスのみんなにとって思い出に残る良い機会になったと思う。

3組: いつも話している人でも、「こうだったんだ！」と新しく知ったこともあったし、入学当初とだいぶ印象が変化していて驚いた。短所のとらえ方によって、長所とみることができるとわかったので、他にもやってみたい。

4組: 「ジョハリの窓」ゲームで、印象通りのときもあれば、意外なこともあった。最後の印象を書く活動の紙を見て、前回と変わっているところがあったので少し驚いた。自分では知らないうちに変わっているのかもしれない。それも「気づかない窓」に入るのかなと思った。

4組: 一番苦労したのが「権利の熱気球」ゲームだった。優先順位が、全て友達と重なるということはないと思うが、一つの項目に対し4人全員の順位が違っているということが多くあった。他人の考えも尊重していきたい。リフレーミングでは、短所を長所に変える事で「開かれた窓」がどんどん広がるのだと分かった。

4組: 人と思考が逆な人もやっぱりいるなど感じた。特に熱気球で「人権」と「生存」で分かれたのが意外だった。また、リフレーミングで短所を長所へと捉え方を変えられると分かった。僕は左利きを短所だと思っていたが、それはほとんどいない特徴だと考えて自信につながった。今日、この学習を通じて開かれた窓を広げられて良かった。

EGGゼミ ポスターセッションを行いました!

3月13日土曜EGGで、EGGゼミポスターセッションを行いました。「1年間の学びの集大成」という心構えで9期生は当日に臨みました。

本番は2回の発表をした後に、他の2グループの発表を聞くことを2度繰り返しました。聞き合うことで、上手な説明の仕方ややり取りの仕方を吸収し合い、どのグループも回を重ねるごとに熱気を帯び、上達していきました。また、各発表も、相手に伝えることを大切に、しっかり相手を見ながら話をするクラス、面白さをまじえながら内容に引き込んでいくクラス、実践を数多く行い説得力をもって説明するクラス、疑問点・調査したこと・分かったこと・考えられること・新たな課題をすっきり整理しているクラスなど、クラスのカラーが出ていました。発表を聞きながら、同じようなテーマでも切り口やアプローチの違いがあること、異なるテーマどうしにつながりがあることにも、気がついたようです。また質疑応答タイムも活発に繰り広げられました。終了の合図に、1年生フロアには「終わった〜!」「やった〜!」の歓声や拍手があちこちから起こり、達成感や満足感いっぱいの豊かな空気に包まれました。おつかれさまでした!

作成したポスターは廊下掲示板と2階渡り廊下に掲示し、全校の方々に見ていただいています。ほぼ同時に高校2年生がTRY&ACTで作成した個人ポスターも1階に掲示されました。南高での総合的な学習のスタートとゴールとをつなげて見ることができます。



新年度は4月7日(水)スタートです。

登校時間: **8時30分** くすのき広場で、新しい学年名簿を配布します。

持ち物: 筆記用具、体育館シューズ、保健等書類3種類、連絡票クリアファイル(中身はご家庭で保管を。)

春休みは、身の回りの整理整頓をして、新年度に向けてリフレッシュをしてください。

1年間をふりかえって1学年の先生たちより

酒井先生

この1年間で一生懸命に取り組めたことは何だろう。今年はしょうがない、で諦めてしまったことがあるなら、それは必ず来年取り組もう。やらない・やりたくない理由を探すのではなく、「どうすればできるかな?」と考える未来はきっと楽しいよ! そんな2年生になろう! みんななら、なれます。

山口先生

1年間、ありがとうございました! 少しでも授業で「こんなことしたな〜」と記憶に残っていると嬉しいです! コロナ禍で、色々と制限された世の中ですが、きっと君たちの未来は明るい!

そんな君たちに、好きな言葉を贈ります。

“There is always light behind the clouds”

2年生になっても、頑張ってください! by 山口

西尾先生

How was your school life at Minami?
I hope you are enjoying it. It was my pleasure teaching you this year.

Spring has come. You are seeing new friends and new teachers.

Don't forget I'm always here for you.

Enjoy your next step! See you soon :-)

福田先生

初めて尽くしの1年間は早かったですか? その時その時一生懸命な9期生の姿は、私たちの元気のもとでした。楽しい1年間をどうもありがとう。いよいよ2年生ですね。初めての時には見えなかったものも、環境が変わることによって改めて気がつくことがいくつもあるでしょう。引き続き好奇心の瞳を輝かせて、新しい1年を創り出しましょう。先生たちは9期生の応援団です。

深谷先生

この1年で日々の生活の中や、体育の授業を通して、みんなの「できなかったことができるようになった瞬間」にたくさん出会うことができました。そしてその瞬間はきっとひとりではなく、隣に仲間が居て一緒に喜んでくれたと思います。2年生でも自分の限りない可能性と素敵な仲間を大切にできる素敵な人でいてください。楽しい1年をありがとう!

大澤先生

6月の学年集会でお話した「誰にも負けないもの」は見つかりましたか? 見つかった人、もともと持っていた人は、これから先、それをさらに磨いていきましょう。まだ探している途中の人は、来年はぜひ見つかるように頑張ってください。どんな小さなことでもいいです。誰にでも、何か輝くものがきっとあります。

青木先生

1年間社会の授業にお付き合いいただきありがとうございました。みんな一生懸命に取り組んでくれました。どれだけ覚えているかではなく、課題について深く考え、クラスの仲間とシェアして「多面的・多角的」に考えられるようになりましたね。2年生になる皆さんの来年度をとっても楽しみにしています!!